

ねん がつ
2023年6月

たいけんがくしゅうしつ
体験学習室 No.26

けんぱくものしりシート

にんぎょう

あやつり人形



センターはぼく
ら2体で、11体の
個性あふれる人形
頭を従えての登
場です。みなさん
よろしくお願
いいたします。

こんにちは。わたしたちは近頃、体験学習室デビュー
したニューフェイス、あやつり人形の13体です。

わたしたち、
実は岩手県立
平舘高等学校
のお兄さんとお
姉さんに作っ
てもらったのよ。

はじめに
着物を着せて
から人形頭
を持ってね。

とても
ステキで
しょう？



ひか 個性の 人形頭 11体

この人形頭の持ち方は【ハサミ
式】という方式で、人形の首の部分
を中指と人指し指にはさんで動かす
よ。頭部の穴に直接指を入れる
タイプの【首管式】の指人形とは
ちがうので手に取って試してみてね。



ハサミ式



①

あやつり人形には色々な種類があります。胴体や頭の部分に指を入れて動かす【指人形】(図①)、腕や足に糸をつけて人形をつり下げた状態であやつる【糸あやつり人形】(図②)、胴の部分と手首についた棒をあやつる【棒使い人形】、三味線伴奏の物語にあわせて大型の人形を何人かで動かす【文楽】(図③)などを含めてあやつり人形といえます。



②



③



もりおかし
盛岡市

あやつり人形による芝居は、テレビが普及する前、江戸・明治時代～昭和戦後まで県内各地で人々に親しまれ、数多く行われました。しかし、昭和30年代を境に後継者不足などで姿を消し、現在では花巻市東和町(★印)の【倉沢人形歌舞伎】と奥州市江刺(☆印)の【広瀬人形芝居常楽座】などの団体が活動を続けています。

1987(昭和62)年には盛岡市の鉦屋町で【淡路人形】と関連資料が発見されました。人形の内部や着物の様子から江戸時代のあやつり人形と報告されています。

これらは当時、淡路の国(現在の兵庫県)のあやつり師(あやつり人形を操作などする人)が、遠く盛岡までやってきて人形芝居をしたことを示すたいへん貴重な資料です。



はっけん あわじにんぎょう
発見された淡路人形
の1つ(当館蔵)

引用文献

岩手県立博物館 2020年 『令和2年度テーマ展「個性派役者勢揃い～岩手の操り人形～ガイドブック』

- 「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。
- 「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www.pref.iwate.jp/?hp0910/>

岩手県立博物館

検索

HPIにてバックナンバー公開中!

けんぱくものしりシート

『あやつり人形』

2023年6月発行 体験—No.26

■引用文献

- ・ 岩手県立博物館 2020年 『個性派役者揃い～岩手の操り人形～』ガイドブック

■写真出典

- ・ 岩手県立博物館 2020年 『個性派役者揃い～岩手の操り人形～』ガイドブック